

Wineプロジェクトの状況

WINE STYLEの状況

高橋 究



2009年4月30日

WINE STYLEの状況

現在のWINE STYLEは2002年の商品化でビジネスモデルとして現在に継続する形をとるようになった。開発の開始は1992年にさかのぼり17年の歴史がある。「スポーツカーのような電子カルテ」をシンボルとして美しく素早く診療を展開していくことを目標としてきた。また医師一人一人の個性を診療スタイルに反映できるように高機能なカスタマイズを行えるようになった。

しかしこのようなシステムはユーザに実現したい世界を確立してもらう必要とそれに対する導入初期の医師によるカスタマイズを要求するものでもあった。電子カルテの利用者の質と場が変化してカスタマイズを行うより、お仕着せでそこそこの機能が使えるれば可とするユーザも目立つようになり今までの機能を包み隠し簡単にアプローチできる方式も望まれている。

コンピュータのパワーは格段に進歩して、バックグラウンドでユーザの補助が可能となったので、電子カルテへのアプローチを複数用意しかつ環境の設定をシステム内部に隠蔽しスポーツカーの中身をもった大衆車への変更を実現する方向にいたっている。今回はこれらの点についていくつかのアプローチを報告する。